

特 別 会 計

簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計は、富根、仁鮎地区を対象に給水事業を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
22年度	59,823,000	53,911,353	53,909,353	2,000	90.1	90.1
21年度	48,166,000	47,659,142	47,657,142	2,000	98.9	98.9
比較増減	11,657,000	6,252,211	6,252,211	0	-8.8	-8.8
増減率	24.2	13.1	13.1	0.0	—	—

当年度の決算額は、歳入53,911,353円、歳出53,909,353円、歳入歳出差引額は2,000円となっている。前年度と比較して歳入、歳出それぞれ6,252,211円（13.1%）増となっている。これは、二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業費の増によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	20,884,000	20,579,375	20,579,375	0	0	100.0
国庫支出金	6,010,000	6,010,000	4,310,000	0	1,700,000	71.7
財産収入	3,000	3,390	3,390	0	0	100.0
繰入金	20,739,000	20,231,066	20,231,066	0	0	100.0
繰越金	2,000	2,000	2,000	0	0	100.0
諸収入	185,000	185,522	185,522	0	0	100.0
市債	12,000,000	8,600,000	8,600,000	0	0	100.0
歳入合計	59,823,000	55,611,353	53,911,353	0	1,700,000	96.9

使用料及び手数料の収入済額は20,579,375円で、給水使用料等である。

国庫支出金の収入済額4,310,000円、市債の収入済額8,600,000円は、二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業に伴うものである。

繰入金の収入済額は20,231,066円で、一般会計繰入金である。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
簡易水道費	55,005,000	49,091,353	5,100,000	813,647	89.2
公債費	4,818,000	4,818,000	0	0	100.0
歳出合計	59,823,000	53,909,353	5,100,000	813,647	90.1

簡易水道費の支出済額は49,091,353円で、富根・仁鮎地区簡易水道指定管理料等の営業費が20,582,765円、二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業費が28,508,588円となっている。また、翌年度繰越額5,100,000円は、二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業費である。

公債費の決算額は4,818,000円で、償還利子である。

予算流用は4件で、489,050円であった。

下水道事業特別会計

下水道事業特別会計は、事業認可区域を対象に下水道事業を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
22年度	2,476,353,000	2,237,226,147	2,224,255,045	12,971,102	90.3	89.8
21年度	2,728,306,000	2,510,028,385	2,502,367,160	7,661,225	92.0	91.7
比較増減	-251,953,000	-272,802,238	-278,112,115	5,309,877	-1.7	-1.9
増減率	-9.2	-10.9	-11.1	69.3	—	—

当年度の決算額は、歳入2,237,226,147円、歳出2,224,255,045円、歳入歳出差引額は12,971,102円となっている。前年度と比較して歳入272,802,238円（10.9%）、歳出278,112,115円（11.1%）それぞれ減となっている。これは、中川原中継ポンプ場増改築工事費の減等によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	32,000,000	42,082,350	33,483,250	1,501,960	7,097,140	82.5
使用料及び手数料	328,416,000	340,435,305	334,389,373	927,814	5,118,118	98.5
国庫支出金	543,688,000	543,688,704	445,288,704	0	98,400,000	81.9
繰入金	532,900,000	529,000,000	529,000,000	0	0	100.0
繰越金	7,661,000	7,661,225	7,661,225	0	0	100.0
諸収入	24,288,000	24,303,595	24,303,595	0	0	100.0
市債	1,007,400,000	863,100,000	863,100,000	0	0	100.0
歳入合計	2,476,353,000	2,350,271,179	2,237,226,147	2,429,774	110,615,258	95.3

分担金及び負担金の収入済額は33,483,250円で、受益者負担金である。受益者負担金の不納欠損額は1,501,960円で、前年度と比較して307,840円（25.8%）の増となっているが、収入未済額は7,097,140円で、前年度と比較して1,961,130円（21.7%）の減となった。

使用料及び手数料の収入済額は334,389,373円で、下水道使用料等である。不納欠損額は927,814円で、前年度と比較して464,837円（100.4%）の増となったが、これは平成17年度に発覚した賦課漏れ分のうち5件416,002円を不納欠損したことによるものである。これにより賦課漏れ分の残は3件63,402円となった。

国庫支出金の収入済額は445,288,704円で、下水道事業費補助金等である。収入未済となっている98,400,000円は、繰越明許とした社会資本交付金事業に伴うものである。

繰入金の収入済額は一般会計繰入金529,000,000円で、前年度と比較して89,000,000円（20.2%）の増となっている。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	1,630,903,000	1,379,433,740	244,439,870	7,029,390	84.6
公 債 費	845,450,000	844,821,305	0	628,695	99.9
歳 出 合 計	2,476,353,000	2,224,255,045	244,439,870	7,658,085	89.8

総務費の支出済額は1,379,433,740円で、一般管理費のほか、終末処理場管理費、管渠及び施設整備工事費等の下水道事業費である。中川原中継ポンプ場増改築工事費の減等により、前年度と比較して226,217,388円（14.1%）の減となっている。

翌年度繰越額244,439,870円は、繰越明許とした下水道事業費（社会資本交付金事業等）である。予算流用は23件で、5,089,275円であった。

下水道事業における建設改良費と市債の借入額及び公債費の推移は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
建設改良費	793,900	562,900	893,500	1,310,600	1,059,116
市債借入額	680,000	1,599,000	876,200	1,107,900	863,100
公債費（元金）	499,829	1,565,681	664,964	689,642	636,830
市債残高	9,248,263	9,281,582	9,492,818	9,911,076	10,137,346

※市債借入額及び公債費（元金）には、それぞれ借換債及びそれに伴う償還金が含まれる。

農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計は、事業認可区域を対象に農業集落排水事業を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
22年度	13,568,000	13,591,425	13,489,705	101,720	100.2	99.4
21年度	14,459,000	14,602,669	14,322,015	280,654	101.0	99.1
比較増減	-891,000	-1,011,244	-832,310	-178,934	-0.8	0.3
増減率	-6.2	-6.9	-5.8	-63.8	—	—

当年度の決算額は、歳入13,591,425円、歳出13,489,705円、歳入歳出差引額は101,720円となっている。公債費等の減により、前年度と比較して歳入1,011,244円（6.9%）、歳出832,310円（5.8%）、それぞれ減となっている。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	3,425,000	3,448,771	3,448,771	0	0	100.0
繰入金	9,862,000	9,862,000	9,862,000	0	0	100.0
繰越金	280,000	280,654	280,654	0	0	100.0
諸収入	1,000	0	0	0	0	—
歳入合計	13,568,000	13,591,425	13,591,425	0	0	100.0

使用料及び手数料の収入済額は3,448,771円で、農業集落排水使用料等である。

繰入金の収入済額は9,862,000円で、一般会計繰入金である。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
農業集落排水費	5,606,000	5,528,169	0	77,831	98.6
公債費	7,962,000	7,961,536	0	464	99.9
歳出合計	13,568,000	13,489,705	0	78,295	99.4

農業集落排水費の支出済額は5,528,169円で、処理場等維持管理業務委託料等である。

公債費の支出済額は7,961,536円で、前年度と比較して1,159,803円（12.7%）の減となっている。

予算流用は1件で、116,210円であった。

浄化槽整備事業特別会計

浄化槽整備事業特別会計は、二ツ井地域内を対象に浄化槽整備事業を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
22年度	140,221,000	139,817,303	139,507,482	309,821	99.7	99.5
21年度	162,978,000	162,309,490	162,116,808	192,682	99.6	99.5
比較増減	-22,757,000	-22,492,187	-22,609,326	117,139	0.1	0.0
増減率	-14.0	-13.9	-13.9	60.8	—	—

当年度の決算額は、歳入139,817,303円、歳出139,507,482円、歳入歳出差引額は309,821円となっている。前年度と比較して歳入22,492,187円（13.9%）、歳出22,609,326円（13.9%）、それぞれ減となっている。これは、合併処理浄化槽設置工事費や公債費の減等によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	5,935,000	5,935,745	5,935,745	0	0	100.0
使用料及び手数料	48,316,000	49,965,735	48,521,990	346,290	1,097,455	97.8
国庫支出金	19,673,000	19,673,000	19,673,000	0	0	100.0
繰入金	51,228,000	50,618,000	50,618,000	0	0	100.0
繰越金	192,000	192,682	192,682	0	0	100.0
諸収入	277,000	275,886	275,886	0	0	—
市債	14,600,000	14,600,000	14,600,000	0	0	100.0
歳入合計	140,221,000	141,261,048	139,817,303	346,290	1,097,455	99.2

分担金及び負担金の収入済額は5,935,745円で、浄化槽設置事業費分担金である。
 使用料及び手数料の収入済額は浄化槽使用料等の48,521,990円で、前年度と比較して2,342,635円(5.1%)の増となっている。また、不納欠損額は346,290円で、前年度と比較して184,800円(114.4%)の増、収入未済額は1,097,455円で、前年度と比較して204,020円(15.7%)の減となっている。

国庫支出金の収入済額は19,673,000円で、循環型社会形成推進交付金である。

繰入金の収入済額は50,618,000円で、一般会計繰入金である。

市債の収入済額は14,600,000円で、特定地域生活排水処理事業債となっている。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
事業費	111,829,000	111,167,330	0	661,670	99.4
公債費	28,392,000	28,340,152	0	51,848	99.8
歳出合計	140,221,000	139,507,482	0	713,518	99.5

事業費の支出済額は111,167,330円で、合併浄化槽清掃維持管理業務委託料、合併処理浄化槽設置工事費等である。合併処理浄化槽設置工事費の減等により、前年度と比較して17,178,594円(13.4%)の減となっている。

公債費の支出済額は28,340,152円で、前年度と比較して5,430,732円(16.1%)の減となっている。

予算流用は2件で、853円であった。

浅内財産区特別会計

浅内財産区特別会計は、浅内財産区の財産管理を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
22年度	1,857,000	2,062,840	1,185,009	877,831	111.1	63.8
21年度	2,803,000	2,805,212	2,464,655	340,557	100.1	87.9
比較増減	-946,000	-742,372	-1,279,646	537,274	11.0	-24.1
増減率	-33.7	-26.5	-51.9	157.8	—	—

当年度の決算額は、歳入2,062,840円、歳出1,185,009円、歳入歳出差引額は877,831円となっている。前年度と比較して歳入742,372円（26.5%）、歳出1,279,646円（51.9%）、それぞれ減となっている。これは、一般会計繰出金（自治会交付金へ）の減等によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
財 産 収 入	1,516,000	1,525,998	1,525,998	0	0	100.0
繰 越 金	340,000	340,557	340,557	0	0	100.0
諸 収 入	1,000	196,285	196,285	0	0	100.0
歳 入 合 計	1,857,000	2,062,840	2,062,840	0	0	100.0

財産収入の収入済額は1,525,998円で、土地貸付収入等である。

諸収入の収入済額は196,285円で、支障木伐採等補償金である。

前年度は、財産区基金繰入金1,095,000円があったが、当年度で基金繰入金はなかったこと等により、歳入全体では前年度と比較して742,372円の減となっている。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管 理 会 費	330,000	146,700	0	183,300	44.5
総 務 費	1,486,000	997,309	0	488,691	67.1
積 立 金	41,000	41,000	0	0	100.0
歳 出 合 計	1,857,000	1,185,009	0	671,991	63.8

管理会費の支出済額は146,700円で、財産区管理委員報酬等である。

総務費の支出済額は997,309円で、一般管理費のほか、財産管理費である。

前年度は、一般会計繰出金（自治会交付金へ）983,000円があったが、当年度で繰出金はなかったこと等により、歳出全体では前年度と比較して1,279,646円の減となっている。

常盤財産区特別会計

常盤財産区特別会計は、常盤財産区の財産管理を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
22年度	12,363,000	15,003,260	11,779,994	3,223,266	121.4	95.3
21年度	5,023,000	6,774,903	4,604,995	2,169,908	134.9	91.7
比較増減	7,340,000	8,228,357	7,174,999	1,053,358	-13.5	3.6
増減率	146.1	121.5	155.8	48.5	—	—

当年度の決算額は、歳入15,003,260円、歳出11,779,994円、歳入歳出差引額は3,223,266円となっている。前年度と比較して歳入は8,228,357円(121.5%)の増、歳出は7,174,999円(155.8%)の増となっている。これは、除伐作業委託料の増等によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
県支出金	4,294,000	4,294,470	4,294,470	0	0	100.0
財産収入	150,000	2,789,082	2,789,082	0	0	100.0
繰入金	5,452,000	5,452,000	5,452,000	0	0	100.0
繰越金	2,169,000	2,169,908	2,169,908	0	0	100.0
諸収入	298,000	297,800	297,800	0	0	100.0
歳入合計	12,363,000	15,003,260	15,003,260	0	0	100.0

県支出金の収入済額は4,294,470円で、これは森林環境保全整備事業費補助金である。

財産収入の収入済額は2,789,082円で、分収林売払収入等である。分収林売払収入については交付通知が年度末にあったことで予算を見込んでいなかったことから、予算額を大きく超えた収入済額となっている。

繰入金の収入済額は5,452,000円で、財産区基金繰入金である。

諸収入の収入済額は297,800円で、森林整備地域活動支援交付金である。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管理会費	290,000	257,445	0	32,555	88.8
総務費	12,073,000	11,522,549	0	550,451	95.4
歳出合計	12,363,000	11,779,994	0	583,006	95.3

管理会費の支出済額は257,445円で、財産区管理委員報酬等である。

総務費の支出済額は11,522,549円で、除伐作業委託料等、財産管理費である。

除伐作業委託料の増等により、歳出全体では前年度と比較して7,174,999円(155.8%)の増となっている。

鶴形財産区特別会計

鶴形財産区特別会計は、鶴形財産区の財産管理を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
22年度	1,668,000	1,751,101	659,851	1,091,250	105.0	39.6
21年度	3,677,000	3,679,063	3,344,529	334,534	100.1	91.0
比較増減	-2,009,000	-1,927,962	-2,684,678	756,716	4.9	-51.4
増減率	-54.6	-52.4	-80.3	226.2	—	—

当年度の決算額は、歳入1,751,101円、歳出659,851円、歳入歳出差引額は1,091,250円となっている。前年度と比較して歳入1,927,962円（52.4%）、歳出2,684,678円（80.3%）、それぞれ減となっている。これは、一般会計繰出金（自治会交付金へ）の減等によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
財 産 収 入	93,000	176,567	176,567	0	0	100.0
繰 入 金	1,240,000	1,240,000	1,240,000	0	0	100.0
繰 越 金	334,000	334,534	334,534	0	0	100.0
諸 収 入	1,000	0	0	0	0	—
歳 入 合 計	1,668,000	1,751,101	1,751,101	0	0	100.0

財産収入の収入済額は176,567円で、土地貸付収入である。

繰入金の収入済額は財産区基金繰入金1,240,000円で、前年度と比較して2,073,000円（62.6%）の減となっている。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管 理 会 費	250,000	109,347	0	140,653	43.7
総 務 費	1,418,000	550,504	0	867,496	38.8
歳 出 合 計	1,668,000	659,851	0	1,008,149	39.6

管理会費の支出済額は109,347円で、財産区管理委員報酬等である。

総務費の支出済額は550,504円で、財産管理費の賃金等であるが、現場作業量等が見込みを大きく下回ったことから、低い執行率となっている。

また、前年度にあった一般会計繰出金（自治会交付金へ）1,800,000円が、当年度ではなかったことや、全体的に執行率が低かったことにより、歳出全体では前年度と比較して2,684,678円（80.3%）の減となっている。

檜山財産区特別会計

檜山財産区特別会計は、檜山財産区の財産管理を行うための特別会計である。

1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
22年度	2,306,000	2,877,811	644,320	2,233,491	124.8	27.9
21年度	3,627,000	3,628,856	2,912,927	715,929	100.1	80.3
比較増減	-1,321,000	-751,045	-2,268,607	1,517,562	24.7	-52.4
増減率	-36.4	-20.7	-77.9	212.0	—	—

当年度の決算額は、歳入2,877,811円、歳出644,320円、歳入歳出差引額は2,233,491円となっている。前年度と比較して歳入751,045円（20.7%）、歳出2,268,607円（77.9%）、それぞれ減となっている。これは、再造林事業費の減等によるものである。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
県支出金	200,000	784,109	784,109	0	0	100.0
財産収入	47,000	34,773	34,773	0	0	100.0
繰入金	1,343,000	1,343,000	1,343,000	0	0	100.0
繰越金	715,000	715,929	715,929	0	0	100.0
諸収入	1,000	0	0	0	0	—
歳入合計	2,306,000	2,877,811	2,877,811	0	0	100.0

県支出金の収入済額は784,109円で、これは森林環境保全整備事業費補助金である。

財産収入の収入済額は34,773円で、基金利子等である。

繰入金の収入済額は財産区基金繰入金1,343,000円で、前年度と比較して2,052,000円（60.4%）の減となっている。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管理会費	290,000	183,345	0	106,655	63.2
総務費	2,016,000	460,975	0	1,555,025	22.9
歳出合計	2,306,000	644,320	0	1,661,680	27.9

管理会費の支出済額は183,345円で、財産区管理委員報酬等である。

総務費の支出済額は460,975円で、財産管理費の賃金等であるが、現場作業量等が見込みを大きく下回ったことから、低い執行率となっている。

再造林事業費の減や、全体的に執行率が低かったことにより、歳出全体では前年度と比較して2,268,607円（77.9%）の減となっている。